

この紙細工は、写真や旧職員の中村玲史先生（美術）が描かれた校塔の絵等を基に設計しました。以下の手順でお作りください。

- 1 2つの展開図を鋏やカッター等でそれぞれ切り抜いてください。その際、弧や母線（半径及び半径の一部）が残らないように切ると仕上がりが綺麗です。
- 2 それぞれ、円錐や円錐台（側面）ができるように丸め、紙が重なったところを洗濯ばさみ等で挟んでください。
- 3 1時間以上経ってから、洗濯ばさみ等を外し、糊しろに糊を付け、円錐と円錐台（側面）を作ってください。その際、糊しろ側の母線が隠れるように貼ると仕上がりが綺麗です。先端部分の糊付けの押さえには、竹串（円錐用）やマーカーペン（円錐台用）等をお使いください。
- 4 円錐（側面）の上に円錐台（側面）を被せれば完成です。

ケースとしては、パッケージのお店等で、直径78mm、高さ100mmの円筒のクリアボックスをお買い求めください。

クリアボックスの蓋の内側に円錐と円錐台（側面）を置いて、クリアボックス本体を被せてください。



← この新しい金栗四三氏の銅像は、新玉名駅前にあるものではなく、本校にある小さい方の像です。

# 紙細工組み立て手順

